

事務事業名		すこやか親子・子育て支援事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	17	終了		
H27担当課等名	保健課		H27係等名	保健指導係		H26係等名		保健指導係							
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり												
	施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実												
目的	対象(誰・何を)	①乳幼児(0~3歳)とその保護者、②妊婦とその配偶者、③体験学習実施高校生										指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①乳幼児が、その発達段階に応じて健全な育ちができる ②子育てについての不安が軽減できる ③次世代の親の育成										対象指標		5400	
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合 %										体験学習実施校の対象生徒数 人		105	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	乳児訪問実施率 %			98	97.9	98	98							
	成果指標	高校生・中学生ふれあい体験学習参加校数			6	5	5	5							
定性目標															
事業概要	<p>胎児および妊娠中から乳幼児の病気の予防と早期発見および健康の保持、増進を目的とし、パパママ教室、乳児家庭訪問、乳幼児健康相談、離乳食講座、あそびの広場等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と保護者がそれを喜べるよう子育て支援を行う。 ・発育、発達について保護者が客観的に確認でき、育児の見通しを持つ機会とする。 ・保護者の不安が軽減され、育児について具体的な方法を考える機会とする。 ・子どもの成長発達に必要な、生活習慣の基礎について考える機会とする。 ・同年代のこどもの集団遊びおよび母の交流の機会とし、子育ての孤立化の解消を図る。 														
事業内容					名称					活動指標					
26年度事業内容	1 出生0~2か月児の全員に対して保健師による家庭訪問指導の実施 民生児童委員による「おめでとう赤ちゃん訪問」の実施					1 乳児訪問延べ数					1 844人				
	2 産後のうつ病について母親へのアンケート調査実施					2 産後2か月うつアンケート調査実施数					2 819人				
	3 乳幼児健康相談(7か月児、12か月児、2歳児)の実施					3 乳幼児相談実施回数・延べ人数					3 141回 2545人				
	4 離乳食講座(前期、後期)の実施					4 離乳食講座実施回数・延べ人数					4 22回 330人				
	5 発達支援の必要な親子に対してあそびの広場の実施					5 あそびの広場実施回数・延べ人数					5 12回 145人				
	6 乳幼児学級の実施					6 乳幼児学級実施回数・延べ親子数					6 708回 8773人				
	7 高校生・中学生 乳児ふれあい体験学習					7 ふれあい体験学習参加校・生徒数					7 5校 105人				
	8 妊婦とその配偶者を対象にパパママ教室の実施					8 パパママ教室実施回数・延べ人数					8 20回 164人				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		3,322	5,263	3,822	4,449	[25特定財源](県)子育て支援対策臨時特例交付金(母子保健)(1/2) 40千円、(そ)諸収入 34千円 [26特定財源](国・県)保育緊急確保事業費補助金(母子保健)(2/3) 294千円、(そ)諸収入 32千円 [27特定財源](国・県)保育緊急確保事業費補助金(母子保健)(2/3) 66千円、(そ)諸収入 33千円									
国庫支出金				147	33										
県支出金		40	378	147	33										
起債															
その他		34	33	32	33										
一般財源		3,248	4,852	3,496	4,350										
人件費計(千円)②		18,953		25,190											
正規職員所要時間		5,300		6,853											
臨時職員所要時間				636											
総事業費①+②		22,275	5,263	29,012	4,449										
事業内容・目標達成状況の振り返り	・ふれあい体験学習は、平成26年度は中学校の参加がなかったため高校5校で実施した。1校で1年生の希望者を募ったところ希望者が多く、参加者数が増加した。														
改革改善の考え方	①問題点	・乳幼児健康相談の実施回数は現状で妥当であるが、保健センターの改築および上郷公民館の建設に伴い、乳幼児健康相談の会場変更について検討が必要となっている。 ・子どもへの関わり方がわからなかったり、子育てに不安を抱える親が増えている。													
	②改革提案	・平成29年度の保健センター開設に伴い乳幼児健康相談の会場および実施回数の検討を行う。 ・乳幼児学級や離乳食講座、ふれあい体験等、子育てについて学ぶ機会を継続して確保する。 ・妊娠期からの継続した支援体制の検討を行う。													